

八女

～あたらしい郷土づくり～

ふるさとの恵みを生かし
安心して心豊かに暮らせる
交流都市 八女

八女市公式 HP <http://www.city.yame.fukuoka.jp/>

■編集・発行 八女市役所 企画政策課 TEL0943(23)1110/
FAX(24)8083 〒834-8585 福岡県八女市本町647番地

2019
平成31年

3.15

No.1158

特集

林業遺産を育んだ村

「矢部村における木馬道と木場作林業」

日本の近代化を支えてきた八女林業

2017年度林業遺産に「矢部村における木馬道と木場作林業」が認定されました。八女における林業の中核地である矢部村には、林業で使用されてきた道具類や写真資料、開道記念碑などが大切に残されており、当時の様子を知らることができます。豊かな森林と水に育まれ、日本の近代化を支えてきた八女林業の大きな遺産となっています。

明治―林業の幕開け

江戸時代、山林は藩によって厳重に管理され、盗伐には死罪などの重い刑が課せられました。矢部村では柳川藩によって禁伐にされた林内で、陸稲やアワ、ヒエ、イモ、コンニャクなどを作る木場作により生活を営ん



昭和25年～30年ごろ

できました。明治になって、巨船・

鉄道・橋梁などが造られるようになり、八女地域でもスギやマツなどの植林が進み、木材の伐採や製材などの林業が盛んになっていきました。

当時の矢部村は村の総面積の27割を国有林が占めており、スギ・マツなどの木材は国有林から出されていました。その頃木材の伐採は、製材業の始まりとされる職業『木挽業』の鑑札を持つ人しか行うことができませんでした。今のようにも機械もない時代、伐採した木材は、木馬と呼ばれる木のそりに乗せて人力で引いて、山から運び出していました。

軌道線が明治22年に久留米・博多間を、明治24年に博多・小倉間を走ったときは、矢部村から栗の木の枕木をたくさん搬出しました。明治36年には黒木・矢部間に郡道（県道）が開通し、黒木や福島まで馬車で木材を運ぶようになりました。

明治37年に矢部村の白ノ払に製材所ができ、村民の大部分が山仕事と製材によって生活するようになりま

した。

明治43年、国は白ノ払にある「正粉官山」（国有林）から木材を出すために林道を開くことを地元と合意し、官民併用林道を開設しました。林道は延長3600メートルの道で、木材運搬だけではなく、多くの村人が生活道路として昭和35年頃まで用いるなど、地域の林業や生活の向上に寄与しました。

大正―電柱材生産の始まり

大正初期には、電気産業の発展に伴い電柱材生産が始まりました。八女地方では、木場作により年輪幅の広い木材が育ち、防虫加工がしやすいために電柱材として高く売れるようになりました。

昭和初期になると、矢部村・星野村に熊本通信局指定の電柱用材丹注入工場ができ、年間数千本を生産していました。

木場作で食料をまかなう

八女地方における木場作の歴史は

福岡県で2番目の認定

林業遺産とは、日本の林業発展の歴史を示す景観や施設、地域独自に発展してきた林業技術や特徴的な道具、古文書などを遺産として認定する制度です。日本各地の林業の歴史を将来に記憶・記録するため、日本森林学会がその設立100周年を記念し、2013（平成25）年から認定を始めました。

「矢部村における木馬道と木場作林業」は2017年度24番目の認定。福岡県では東峰村の「小石原の行者杉」に続き2番目の認定となりました。

●認定対象Ⅱ【資料群】木材搬出の木馬道に関する写真資料、木馬道による搬出および造林・木場作当時の村民生活に関する資料群【道具類】伐採搬出道具【建造物】開道記念碑



林業遺産認定を市長に報告



明治以降植栽されたスギを馬で搬送（昭和40年頃）

江戸期にさかのぼります。木が育つ間に作物を作る木場作は、耕地の少ない中山間地では貴重な食料となりました。

水田による自給率が村民の2か月半分しかなかった矢部村では、明治以降も国有林内で切り替畑（焼畑）や木場作を行いました。国有林にとってはこれが下刈り、地ごしらえ（土地を耕し準備する）となり、村人にとっては国有林の伐採や木材搬出により現金収入を得ることができたのです。

昭和18年以降の戦中・戦後にかけて、矢部村は大勢の疎開民を受け入れました。この時代の食料の自給も木場作によってまかなわれていました。

戦後―林業全盛期

昭和25年から30年になると食料自給の必要が薄れ、荒れ果てた山に戦後復興のために造林が推進されました。昭和30年代に入ると高度経済成長の時代で木材の需要も高まり価格も高騰、林業の全盛期を迎えました。矢部村は八女林業の中核地でしたが、昭和35年日向神ダムの建設、昭和47年に鯛生金山の閉山、電柱材需要の急減などにより、村は過疎化し景観も大きく変わっていきました。

平成―衰退と再生に向けて

平成に入り木材需要の減少や山の担い手不足、台風による山林被害な

どにより、林業は衰退していきます。

そのような状況であっても矢部村では「ふるさと創生」への取り組みとして、山村の文化を象徴する「杣」をキーワードに都市との交流を進めてきました。そして、地球環境保全や自然災害などから山林の重要さが見直されてきている時代。林業によって育まれた山村の文化に、再び光が当てられようとしています。

矢部村の林業遺産の登録期間は、明治43年から昭和35年まで。その間に使われた林業関連の道具、写真資料や開道記念碑などが登録され、厳しいなかであっても心豊かであった当時の山村文化を今に伝えていきます。

「林業遺産は、地域の生き様を象徴する」

福島 敏彦さん（久留米市）
福岡県林業技術者連絡会会長



矢部村を林業遺産へ推薦しようと思ったきっかけは、矢部村の栗原館長から送られてきた1枚の写真でした。私は大分県の耶馬溪近くで育ち、小さいころ見た林業の記憶が懐かしく甦りました。また、林業専門に仕事をしてきたので、山村に対する思いは強く、何か恩返しがしたいと思ってきました。明治・大正・昭和の日本の経済や復興を支えたのは、山村から出された木材です。特に矢部村は藩政時代、藩の山が多かったことから、大きな木が数多く残り、搬出することができました。まさにその地域の生き様を象徴しているのが林業遺産だと思います。

今年4月1日から「森林経営管理制度」がスタートします。これは、管理が行われていない森林について市町村が仲介役になり、森林所有者と森林経営者をつなぎ担い手を探すシステムです。これにより、林業の担い手が増え、荒れた森林の手入れが進み、山村が活性化していくことを願っています。



昭和30年頃、馬で運び出された木材は、県道をトラックで運搬されました。

林業遺産
その1

木馬道と白ノ払林道

木馬道とは、山で切り出した木材を木馬で運搬するための道。栗などの広葉樹を横に並べた非常に険しい道でした。山で伐採した木材は『ツル』という道具で持ち上げ、『トビ口』を打って引張り、『万力』という道具で回転させて木馬に乗せていました。

木馬は二人組で引き、舵取りが前を歩き、後方は木馬の枕に結んだワイヤーを立ち木に回してスピードを調整しました。材木に押しつぶされる危険が伴う作業のため、後方は木馬道の曲がりや勾配を熟知したベテランが務めました。大木になると数人でチームを組み、ツルで持ち上げトビ口で引くときに、調子を合わせるために『山師音頭』が唄われました。

明治43年にできた白ノ払林道は、国と民間篤志家の寄付によって作られました。官民一体で作られた林道は日本中どこを探してもほかになく、白ノ払開道を記念して記念碑が建てられました。

白ノ払にある正紛官山の国有林は、伐採時には道路が悪路で狭く木材の運搬に不便でした。明治43年、熊本大林区署長前田譲氏は林道を開くことを地元と合議したところ、受益者も寄付をして、敷地代と工事費に当てました。石碑裏には、寄付者として矢部村の二百円を筆頭に地元の人々の名前と村外では木屋村、黒木町、豊岡村、福島町、北川内町、横山村などの60数人の氏名、碑末には地元の功労者の名が刻まれています。

白ノ払開道記念碑は、昭和35年日向神ダム建設に伴い新道の脇に移設されて埋没。平成22年に地権者が発見し、50年ぶりに出現しました。その後現在の地に復元され、平成28年7月28日に八女市民俗有形指定文化財に指定されました。

三者の支えを表す「白ノ払開道記念碑」

白ノ払地区の民家に残されていた「白ノ拂愛林組合規約」には、組合が昭和5年に結成されたことが記されています。組合の目的は、地域の山野を愛護し農林業関係の振興・地域づくりを意図することとされ、貴重な資料として開道記念碑や道具類と共に市の有形民俗文化財に指定されています。



白ノ払に復元された「開道記念碑」

開いた「矢部塾」「北内義塾」とのつながりがあったのではないかと考えられます。記念碑の台座・中段・碑文が全て三角形であるのは、官・民有地・一般の三者が支え、三者が恩恵を受けた表現と考えられています。



栗の木が敷かれた木馬道。木材は重量があるため、木馬や木馬道には種油を敷いて滑りをよくしました。(昭和35年御側八ツ滝下の木馬道)



白ノ払地区の民家に残されていた「白ノ拂愛林組合規約」には、組合が昭和5年に結成されたことが記されています。組合の目的は、地域の山野を愛護し農林業関係の振興・地域づくりを意図することとされ、貴重な資料として開道記念碑や道具類と共に市の有形民俗文化財に指定されています。

戦中・戦後の食料を まかなった「木場作」



畑仕事が終わりに帰途中の母と子（昭和30年ごろ）

木場作では木の間から日が照っている間はいろんな野菜類を作り食料自給に努めました。特に昭和18年以降の戦中・戦後には、矢部村は4000人の人口から疎開によって6350人ほどの人口を抱えました。村の水田では2か月半、文献によつては4か月ぐらいの米しかなく、食料自給の問題は深刻で、木場作をたくさんして食料を供給しました。木場作をさせない所有者は国賊とまで言われ、国有林でも木場作を黙認していました。矢部村は村に縁故がなくても、疎開で困っている人をだれでも引き受けました。大勢の人の食料をまかなった矢部村の地は、都会の人にとつて

はまさに母なる大地でした。茶業の歴史も古く、日本でお茶の貿易が始まった1600年代には国有林でお茶を栽培していました。明治30年ぐらいいなると自宅の周りにもお茶の木を植えるようになり、お茶の栽培はますます盛んになりました。明治から大正・昭和の初めにかけて、八女東部では茶摘みの最盛期になると八女・筑後・柳川はもとより、宇土・天草方面からも大勢の人が泊りがけで茶摘みの加勢にきました。田植えの時期になると、「手間替え」と言つて、八女東部の人たちが柳川・筑後地方へ田植えの手伝いに行っていました。

「林業以外に生きる途がない」——林業に尽力した矢部の人々

初代村長坂本虎之助は村の開発に尽力し、今日の林業の基礎を築きました。また、矢部村林業の父といわれるのが中川耕一郎氏です。中川氏は明治35年ごろ矢部村に吉野杉を移植し、県下第一の林業村となりました。明治37年、八女郡で最初に白ノ弘集落に製材所を設けました。また、ロシアに渡つて八女茶の販路拡大にも尽力しました。昭和25年3月5日付の八媛新報には、矢部村の林業について次のように記されています。

「この村で人工杉植林を始めたのは明治19年頃からです。先覚者中川耕一郎さんが熱心に植林を奨励されたお陰で、現在では県下産額の1割を占めております。（途中省略）——矢部村は林業以外に生きる途がないので、造林開墾に力を注いでおります」



「先人たちが、命をかけた仕事が認められた」

仁田原 石義さん

飯干地区振興協議会現地保存会代表

まだ林道がない時代、昔の人たちは3~4キロの道を人力で木材を出していました。林道ができたことで、馬に引かせて運搬できるようになりました。木馬道も狭く険しく、まさに命がけの仕事をしていたのです。この山仕事と木場作によって、たくさんの人々の生活がまかわられていました。

矢部村は木こりの里、杣の里として山の文化とともに成り立ってきました。今回の林業遺産登録は、先人の努力を評価していただいたと大変誇りに思います。これを機に、再び矢部の林業の歴史が見直され、地域おこしの起爆剤になればと願っています。木馬道は国有林の中にあることもあり現在は通ることはできませんが、今後ここを生かして何かできることはないかと考えています。



昭和5年当時の木馬道と作業道具を持った人々

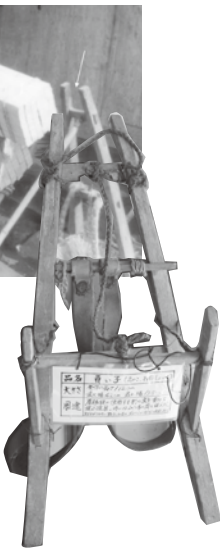
林業遺産
その3



「木馬」(きんま)
(人力を用いて引く)
カシ・ナラ等硬木で作った2本の親骨に3~5本の横木を取り付けた梯子形のそり。木材運搬用として使用した。



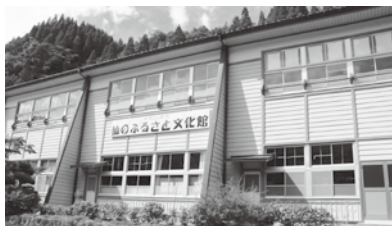
「背負子」(しょいご・おいご)
薪や木炭俵など重量物を背に担ぐときに使用した。



林業遺産には、村民の働いてきた生活などの産業文化も登録されました。矢部村にある「杉のふるさと文化館」には、当時の木馬道の構造を示す資料や搬出作業を記録した写真、木挽ノコ・背負子・木馬などの林業道具が数多く展示されています。林業の道具類に関しては、これだけ揃っている所はおそらく県内にはないと思います(福島さん談)。ぜひご覧になってください。

林業を支えた道具たち

矢部中学校の旧木造校舎を利用し整備。矢部の民俗文化や郷土芸能の紹介、世界子ども愛樹祭コンクールに寄せられた作品等の展示、八女教学の祖・江碓濟(えさきわたる)先生の教育資料、松井明子先生(社会科資料作り)に矢部村を5年間取材)資料、矢部民謡の父・栗原晨護(しんご)氏の資料などを展示している。

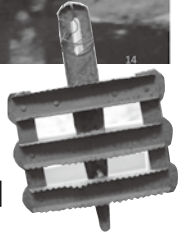


●矢部村北矢部 11060-1 (☎ 47・2055) ●開館時間9時~16時30分 ●水曜休館 ●入館無料

杉のふるさと文化館



電柱材を台車に乗せて、馬で搬送する様子



「馬・牛のブラシ」



「木挽ノコ」
木挽を象徴する道具。

約22cm角材を縦挽(たてびき)して板材を造る木挽棟梁



ひろのぶ
栗原 浩暢さん
柚のふるさと文化館館長

「郷土の記憶として
村の姿を次世代へ」

かねてから、ダムにより集落が歴史ごと沈んでしまったような気がしていました。郷土の記憶として、村の昔の姿をまとめておきたいという心境から、地域や人物を通して古いことをつかんでおこうと思い、それをしないと次の世代になって村の生活や歴史が分からなくなってしまうのではないかと危惧しました。

今回、林業遺産を申請するに当たり、地元の方々から話を聞き取ったり、福島先生へ資料提供を行ったりしました。林業遺産に認定されたことを関係者一同大変喜んでます。木馬道が再現できて、地域おこしになればと思います。林業遺産の道具類は、柚のふるさと文化館に展示していますので、ぜひ見学においでください。

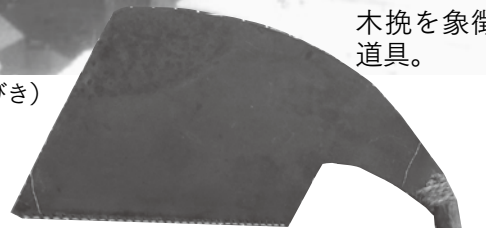


「万力」(まんりき)
材木を持ち上げて回転させるのに使用した。



「キセル」作業の一休みの時、きざみたばこをキセルに詰めて吸っていた。

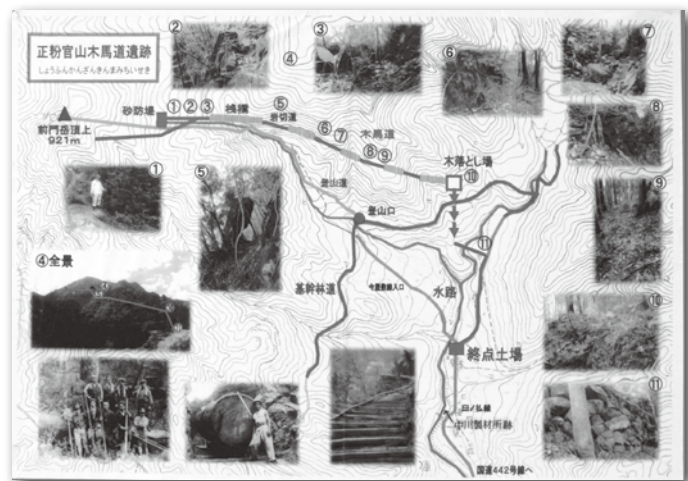
「ツル」(左)「とび口」(右)
てこの原理で木材を浮かせ、持ち上げるのに使用した。



「ノコ類」
それぞれの用途に応じて使い分けられた。



「斧」(おの) 小さなものを切るときに用いる



「しょうふんかんざんきんまみち」
「正粉官山木馬道遺跡」の地図

正粉官山の地名は、以前藩が所有していたからといわれています。この地図は栗原館長などにより作成され、当時の木馬道の位置などを知ることができます。

守る・育む

柳川市と水のふるさと協定を結ぶ

平成17年10月3日、柳川市と当時の矢部村は「水のふるさと協定」を締結しました。これは、山・川・海の生態系はつながっており、川上と川下が一体となり環境保全や地域振興に取り組み、それまでも「水郷柳川の豊かな水、有明海の高品質の海苔は、

矢部村を源流とする矢部川は有明海に注ぎ、川上から川下まで流域に豊かな自然の恵みを与えています。矢部川の豊かな源流の森を守り育むために、さまざまな取り組みが行われています。



平成17年の協定書

豊かな森を守る両市民の活動は続いています

きれいな矢部川の水なくしてはあり得ない」と、漁業関係者などが森林ボランティアで矢部村に向いたり、矢部村の子どもたちが潮干狩りを体験したりする交流が続いていました。水のふるさと協定締結を契機に、柳川市民により矢部村の高の巣公園内にモミジやケヤキ等の植栽が行われています。現在では約1800本の木々が植えられ、「柳川市民の森」として管理されています。毎年2回、柳川市民と矢部村関係者が合同で、下草刈作業のボランティア活動をして交流を深めています。この活動が認められ平成30年5月26日には、八女市・柳川市は福岡県から緑化功労者表彰を受けました。

世界中の子どもたちに愛樹の心を育てる「世界子ども愛樹祭コンクール」

世界子ども愛樹祭コンクールは、平成3年にふるさと創生基金の一部をもとに設立されました。NPO法人世界子ども愛樹祭コンクール・コスモネットにより毎年実施されています。木・森・水・みどりなど地球環境について、絵画や詩・作文、木はがきが国内はもとより、トルコ・ロシア・スリランカ・台湾・ペルーなど世界中から応募があります。今までに届けられた作品は7万点を超えています。入賞作品は、「木のふるさと文化館」に展示されています。



昨年の授賞式の様子。木の香り漂う矢部村多目的ホール「木龍」で行われました。

また、受賞者が記念植樹をする「友情の森」では、たくさんのお木がすくすくと育っています。今年も絵画の部に1558点（国内1404点、国外154点）、詩・作文の部608点、木はがきの部142点（15歳以下59点、16歳以上83点）の応募がありました。授賞式は3月24日(日)、矢部村多目的ホール「木龍」で開催されます。



記念植樹の様子



今年の一次選考の様子

最終選考委員として審査にご協力いただいている皆さま（敬称略）長野ヒデ子（絵本作家）、内田麟太郎（絵本作家）、大倉紀子（デザイナー）、安部龍太郎（作家）、椎窓猛（詩人）

今に伝える

「木挽唄」 こびきうた

広島地方の木挽が、出かけた地方に伝えたとされています。

ヤーレー
山の中でも
三軒家でも
アー
住めば都よ
我が里よ
ヤーレー
木挽さんたちや
大名の位

アー
山の峠に
陣構え
ヤーレー
三十二枚の
もろ刃のノコで
アー
挽くは御上の
御用の板



木挽唄を唄う栗原一郎さん（97歳）

矢部村には、公卿唄や木挽唄などの民謡が数多く残っています。それらの唄は『矢部民謡を伝承する会』（栗原敏彰代表）によって歌い継がれており、八女矢部まつりでなどで披露されています（写真）。

「山師音頭」 やましおんど

切り出した丸太を山から手作業で運び出す時の作業唄。みんなで調子を合わせて大木を人力で動かしていました。

私の音頭は
早うして遅うして
やりにくかろうがよ
辛抱してくれ
金ためしやんせ
明けての春には
女房となります
女房となつたら
ツルカギ持たせて

せんどう
柚頭さまじやと
言わせたいのが
親御の楽しみじや
辛抱してくれ
そらそら乗つたぞ
浮いたかひようたん
軽そに流れる
行き先や知らねど
軽そに流れる



山師音頭で調子を合わせ、トビロとツルで大木を動かします

伝承する山村文化イベント

八女東部では、矢部村以外でも、林業や茶文化を伝えるイベントが伝承されています。

【上陽町】 全日本きんま選手権大会



11月の「上陽まつり」の中で「全日本きんま選手権大会」が開催されます。俵400kg（一般の部）を乗せたきんまを5人1組で引いてタイムを競います。

【黒木町】 八女茶山唄日本一大会



「ハアヤーレー 縁がないなら茶山にござれ♪トコサイサイ」毎年6月に黒木町で開催されている、八女茶山唄日本一大会には、県内外からたくさんの方が参加し、自慢ののどを披露します。
※出場者募集のお知らせは19ページ

山を守る人々



山で作業をする(株)クリエイトやべの皆さん



堀下林業の索道による木材搬出



株式会社クリエイトやべ
栗原 英樹 部長

クリエイトやべは平成11年、山林作業の継承を目的に当時の矢部村で第3セクターとして設立されました。現在の社員は6人。

木馬で木材を出していた時代に比べ、今は山に道を入れて重機を用いるので搬出は楽になりました。しかし道を入れることにより山が荒れ、大雨の時に土砂災害が起こる危険もあるため、昔ながらの索道（ワイヤーを張って山から木材を搬出する方法）が

見直されています。矢部村でも索道で木材を出していますが、その技術者が少なくなることが心配されています。また、戦後植林された杉は伐採の時期を迎えています。伐採したあと植林をしますが、木が育つには50年〜70年の長い年月がかかります。その間の、

下刈りや間伐などの育林に携わる人たちも少なくなっています。次の時代、林業はどうなっていくのか想像がつかせませんが、林業に関心を持つ若い人も育っています。

山は神聖なもので、昔は山に入ったらず必ずお神酒を上げていました。今でも1月・9月の16日は山の神さまの日で、この日は山には入りません。山の仕事は大変ですが、自然を相手に清しい気持ちになります。多くの人の目が、山に向けられることを願っています。

今の時代、山に作業用の道が入り、高性能機械が導入されることによって、林業も以前と比べるとはるかに作業は楽になりました。しかし、機械では補いきれない技術の継承や次の時代への取り組みなど、多くの課題を抱えながら林業に頑張る人たちがいます。

矢部村のイベント等

【世界愛樹祭コンクール表彰式】

3月24日(日)／矢部村多目的ホール「木龍」

【やべ春まつり】

3月30日(土)～4月7日(日)／矢部地区観光物産交流施設「杣のさと」、所野広場

【八女・桜まつり健康マラソン大会】

4月6日(土)／矢部第1運動場

【矢部村山系八名山山開き】

5月中旬

【矢部村花火大会】

8月中旬／矢部第1運動場

【大杣公園祭】

10月8日(火)／大杣公園

【八女矢部まつり】

11月中旬／矢部第1運動場



【矢部地区観光物産交流施設「杣のさと」】矢部地域特産の農産物や農産加工品を販売。矢部村名物のそまりあんカレーやまんどきそばを中心に食事ができます。



宿泊施設【奥八女別邸やべのもり】昨年7月にオープン。奥八女の豊かな自然に囲まれながらゆったりとした時間を過ごせる、全7棟の庭付き客室が用意されています。



春の矢部村はダムの周りを千本桜が彩ります

秘境杣の里へ出かけよう

県指定無形民俗文化財 「八女津媛神社の浮立」

日本書紀によると大和朝廷の時代、景行天皇が八女の地に巡幸の折、「東の山々は幾重にも重なってまことに美しい。あの山にたれか住んでいるか」と尋ねられました。水沼の県主「猿大海」が「山中に女神あり。その名を八女津媛といい、常に山中におる」と答えたことから八女の地名が起ったといわれています。

矢部村にある八女津媛神社は、今年建立1300年を迎え、11月中旬に祭典が開かれます。5年に1度奉納される「浮立」も奉納されます。

(※写真は平成26年の浮立奉納)



特集「林業遺産を育んだ村」【参考資料】「矢部村における木馬道と山村民の生活史資料」および写真、矢部村史、星野村史、矢部民謡を伝承する会資料、白ノ弘林業遺産調査結果資料、関係者の皆さまほか。



山中に女神あり。その名を八女津媛といい、常に山中におる。
今年建立1300年
「八女津媛神社」

4月は統一地方選挙が行われます

4月7日 県知事・県議会議員一般選挙 4月21日 八女市議会議員一般選挙

県知事・県議会議員一般選挙についてお知らせします。

投票できる人は…

満18歳以上の日本国民にはすべて選挙権がありますが、選挙人名簿に登録されていなければ投票をすることができません。今回の選挙で投票できるのは次の要件に当てはまり、選挙人名簿に登録されている人です。

【年齢居住要件】

平成13年4月8日までに生まれた人で、平成30年12月28日までに八女市に転入届出をして引き続き八女市に住民登録をしている人。

平成30年12月7日以降に福岡県内の他市町村に転出し、まだ新住所地の選挙人名簿に登録されていない人は、八女市で投票できます。ただし、県内の市区町村長から交付される「引き続き住所を有する旨の証明書」が必要で、「証明書」の交付可能な時間は、事前に各市区町村に確認してください。

期日前投票について

仕事や旅行、レジャー、買い物、出産が近いなどの理由で当日に投票所へ行つて投票ができない(見込みの)人は、期日前投票をすることができます。投票の際には「投票所入場券」を持参してください(届いていない時は必要ありません)。

期日前投票所は次の6か所の施設で投票できます。

【八女市役所103会議室】

▽期間 3月22日(金)～4月6日(土)

※3月29日までは、県知事選挙しか投票できません。

【上陽支所小会議室】

【黒木支所第5会議室】

【立花市民センター101研修室】

【矢部公民館】

【星野村行政福祉センター大集会室】

▽期間 3月30日(土)～4月6日(土)

▽時間 8時30分～20時

八女市にお住まいの人は、どの施設でも期日前投票ができます。

なお平成30年12月21日から平成30年12月28日までに八女市に転入届をした人は、平成31年3月28日以降でないと県知事の期日前投票はできませんのでご注意ください。

期日前投票所まで「ふる里タクシー」を無料で利用できます

期日前投票所まで、八女市乗合タクシー「ふる里タクシー」を無料で利用できます。乗合タクシーを利用して期日前投票を行った場合、期日前投票所までの運賃を選挙管理委員会が負担しますので、選挙人の運賃が無料になります。

ご利用の際は、八女市乗合タクシー予約センター(☎33・2002)にその旨をお伝えください。利用日の2日前から予約できます。

なお、乗合タクシーを利用する場合、事前に登録が必要となります。登録申し込みは、八女市役所地域振興課(☎24・8162)または各支所総務課で受け付けています。



登録に時間がかかる場合がありますので、利用される人は早めの登録申し込みをお願いします。

また、その日の予約状況により、ご希望の時間に予約ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

◆運賃が無料になる期間

【県知事・県議会議員選挙】

平成31年4月1日(月)～5日(金)

【市議会議員選挙】

平成31年4月15日(月)～19日(金)

投票所入場券をお届けします

投票所入場券は、3月19日ごろに、郵送で世帯ごとに各家庭へお届けします。あなたが投票する会場は、入場券に記載されています。投票に行くときは、必ずこの入場券を持参してください。

万一、入場券をなくしても投票することができませんので、当日投票所の受付で係員に申し出てください。

また、投票日が近づいても入場券がお手元に届かないときには、市選挙管理委員会へ問い合わせください。

不在者投票ができます

選挙人名簿に登録されている人で、仕事などで遠くに行っている人は、八女市に投票用紙等の請求をして、滞在地の選挙管理委員会において不在者投票をすることができます。詳しく

くは、市選挙管理委員会へ問い合わせください。

代理投票・点字投票もできます

投票をするときは、選挙人がすべて自分で投票用紙に候補者の氏名を記載する自書投票になっています。

身体の不自由などにより自分で記載することができないときは、投票所の係員が代筆します。ただし、ご家族や付き添いの人が代筆することはできません。また、点字での投票もすることができません。

いずれの場合も、受付の係員に申し出てください。どちらの投票も秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

郵便等による不在者投票

身体障害者手帳か戦傷病者手帳を持つ選挙人で、身体に重度の障がいがある人または介護保険法の被保険者の人は郵便等による不在者投票が認められています。

障害の程度の等級が限られており、手続きには期間を要しますので、早めに選挙管理委員会まで問い合わせください。

選挙公報をお届けします

県知事選挙および県議会議員一般

選挙の選挙公報をお届けします。

また、公営ポスター掲示板を市内に設置します。もし、この掲示板が壊れているのを発見したときは、お手数ですが市選挙管理委員会へご連絡ください。

即日開票

●日時 4月7日(日)21時15分から
●場所 八女市総合体育館2階球技場
※開票の状況を、市のホームページに掲載します。
(<http://www.city.yame.fukuoka.jp>)

選挙運動の制限

選挙運動はできるだけ自由であることが望ましいのですが、公正な選挙を行うため、公職選挙法では各種の制限がなされています。主なものは、次のとおりです。

◆事前運動

選挙運動ができるのは、立候補の届出をしてから投票日の前日までです。立候補届出前の選挙運動は「事前運動」として禁止されています。

◆文書・図画の頒布、掲示

頒布できるものは一定数の「はがき」と「選挙ビラ」だけです。また、掲示できる「ポスター」等は一定の規格や数量等が定められています。

◆戸別訪問

選挙運動のために有権者宅や会社などを二戸一戸訪ねることは「戸別訪問」として禁止されています。また、家の中に入らずに軒下や入口で面会する場合や、相手が不在あるいは面会を拒否された場合も該当します。

◆飲食物の提供

選挙運動に関して、その名目にかかわらず飲食物（お茶および通常用いられる程度のお茶菓子は除く）を提供することは禁止されています。陣中見舞いとして候補者などに酒などの物品を贈ることも違反になります。

◆買収・供応・妨害

選挙運動のために買収や接待したりされたりすることは禁止されています。また、候補者のデマをとぼしたり候補者・選挙人等を脅したり、演説・集会・交通などを妨害したり、選挙用ポスターを破いたりして選挙の自由を妨げると処罰されます。

◆候補者等の寄附

政治家や立候補予定者が、選挙区内にある者に対し寄附をすることは、選挙運動期間中に限らず禁止されています。また、候補者等に対し寄附を求めることも許されていません。

●問い合わせ 八女市選挙管理委員会事務局（八女市役所総務課内 ☎23・1111）

みんなの一票大切に！





食べて遊んでよく寝よう 「病気に負けない丈夫な子」に！

健康コラム

2月の健康だよりでは、子どもの「免疫」の力について紹介しました。今回は、子どもの免疫を高めるための「運動」「睡眠」「食事・排泄」について紹介します。

【運動】 しっかりからだを動かそう！

気温の変化を肌で感じながら、外で運動することは、自律神経の働きをよくし、免疫力を高めるために大切です。運動の基本は歩くことです。子どもたちだけで遊ぶよりも、大人と一緒に遊ぶ方が、

たくさん歩くことができます。歩数が倍近くなるとも言われています。また、大人が積極的に声をかけて遊ぶと、コミュニケーションがとれて子どもは大喜びです。

午前中からだを使つて運動することは、体温を上げ、1日を活動的に過ごすことにつながります。逆に夜のカラダ遊びは、眠りの妨げになりますので、朝や日中の運動習慣を身につけるようにしましょう。

【睡眠】 早寝早起きを習慣化する！

理想的な生活リズムとしては、朝は7時よりも前に起きる、夕食は6時まで始めることです。

また、ぐっすり眠るためには、静けさと安らぎ、きれいな空気が必要です。テレビの音が聞こえたり、帰ってきた

パパやママが子どもの寝顔を見ようと電気をつけたりするのは良くありません。

【食事・排泄】 しっかり食べて、しっかり出す！

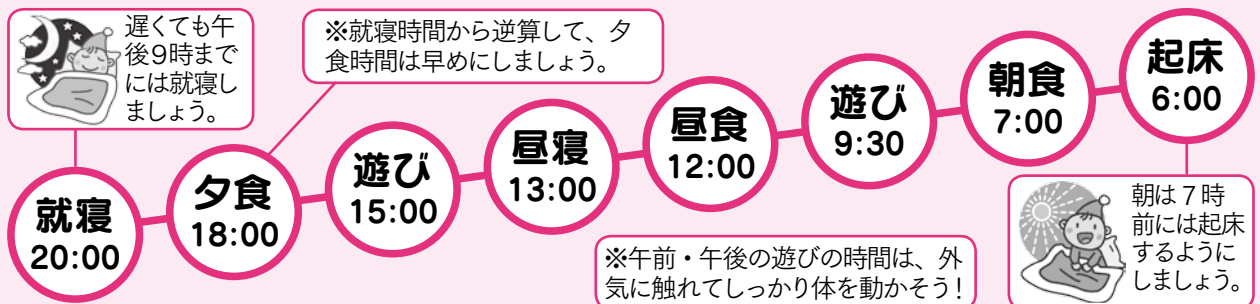
朝ごはんをしっかり食べ、朝に排便があることが大切です。朝に排便がないのは、朝ごはんの不足が原因です。菓子パン程度では、腸の刺激にならないので、バランスよく、量もしっかり食べるようにしましょう。

また、朝、排便をした子としない子では、排便をした子の方が、昼間の握力が強いとも言われています。

基本的な生活習慣を子どもから身に付けて、病気やアレルギーなどに負けない、丈夫なからだづくりをしましょう。

理想的な1日の過ごし方

子どもの睡眠時間は1日10時間以上が理想です。正しい生活リズムは健やかな心と身体をつくれます。





健康相談

住民の皆さんの健やかな毎日のために、健康相談を行っています。保健師が健康に関するいろいろな相談に応じます。《※》を記した会場では、管理栄養士による栄養相談も行います。予約優先。

- 4月8日(月) 10時～10時40分／八女市保健センター機能訓練室《※》
- 4月10日(水) 10時～10時40分／上陽支所小会議室
- 4月11日(木) 14時～14時40分／矢部支所会議室
- 4月12日(金) 10時～10時40分／星野支所2階相談室
- 4月15日(月) 10時～10時40分／立花市民センター 201研修室
- 4月23日(火)10時～10時40分／黒木支所第3会議室《※》

乳幼児健診

《八女地域・立花地域の皆さん》

- 会場 やめっこ未来館
 - 受付時間 13時15分～14時15分
 - 日にち・対象
- 4月9日(火)=10か月児(平成30年6月生)健康診査
4月17日(水)=4か月児(平成30年12月生)健康診査

4月23日(火)=1歳6か月児(平成29年9月生)健康診査

4月25日(木)=3歳児(平成28年3月生)健康診査

《黒木・上陽・矢部・星野地域の皆さん》

- 会場=ふじの里(黒木)
 - 日時=4月16日(火)13時30分～14時30分まで受付
 - 対象=4か月児(平成30年11月と12月生)／10か月児(平成30年5月と6月生)健康診査
- ※対象者には個別に通知します。事前に連絡いただくと、どちらの会場でも健診を受けることができます。

ベビーズクッキング

離乳食初期(5～6か月児)の話と調理。要予約。定員12人。託児あり(要申込)。

- 日時=4月18日(木) 10時～12時(受付:9時30分～9時50分)
- 会場=おりなす八女研修棟
- 持参品等=エプロン、三角巾(バンドナ可)、手ふきタオル、母子健康手帳、筆記用具。

子育て相談

子育てのことで、少しでも心配なことがあったら気軽にご相談ください。身長・体重測定もできま

す。母子健康手帳をお持ちください。相談日以外でも、窓口や電話で子育て相談を行っています。

- 4月3日(水)9時30分～10時30分／やめっこ未来館
- 4月5日(金)10時～11時／ふじの里(黒木)

乳幼児心理相談

心理士による個別相談です。対象者は小学校就学前までの成長発達面に不安のあるお子さんです。予約制のため、事前に電話で予約してください。気軽にご相談ください。

心理士によるこころの相談

心理士による個別相談です。対象者は市内在住で、こころに悩みがある人です。気軽にご相談ください。要予約。

- 日時=4月24日(水)13時30分～15時30分まで受付
- 会場=おりなす八女研修棟

◆申込・予約・問い合わせ=健康推進課(☎23・1352)

八女はおいしい
～ふるさとの恵み～

八女市食生活改善推進会研修会で作ったレシピです。ヨーグルトを使うことでさわやかな風味となり、噛み応えのある野菜を味わうことができます。ぜひ一度作ってみてください。
毎日の食卓に野菜料理を一品プラス。野菜を1日350g以上食べましょう。

彩りサラダ～ヨーグルトドレッシング和え～



- 【材料】4人分
【調理時間の目安】20分
- ブロッコリー(八女産)…200g(3/4株)
 - プロセスチーズ…30g
 - パプリカ(黄)…1/3個
 - プチトマト(八女産)…8個
 - アーモンド(素焼き)…15g

- 《ヨーグルトドレッシング》
- プレーンヨーグルト…80g
 - 菜種油…大さじ2
 - 米酢…大さじ1と1/3
 - きび砂糖…小さじ1/2
 - 塩…小さじ1/3
 - 洋ごしょう(白)…少々

1人分あたりの栄養価

エネルギー	146Kcal
たんぱく質	5.6g
脂質	10.9g
炭水化物	7.9g
カリウム	351mg
カルシウム	104mg
マグネシウム	33mg
鉄	0.8mg
食物繊維	3.1g
食塩相当量	0.8g

【作り方】

- ① ブロッコリーは小さめの小房に分けて茹で、ざるにあげて冷まし、ペーパーで水気を取っておく。
- ② プロセスチーズとパプリカは1cm角に、プチトマトはくし形に4つに切る。アーモンドは粗刻みにする。
- ③ Aのヨーグルトドレッシングの材料をしっかりと混ぜる。
- ④ アーモンド以外の材料を③のドレッシングで和え、器に盛り付け、アーモンドをのせる。

市職員の給与と 職員数の状況

八女市は、人事行政の公平性・透明性を高めるため職員数や給与を公表します。市職員の給与は、市議会での給与条例や予算審議を通じて公に決定されており、この給与決定の原則に基づき給与制度の運営に努めています。

● 問い合わせ：人事課人事係（☎23・2129）

住民基本台帳人口(29年度末現在)	64,322人
歳出額 A	361億1,509万3千円
人件費 B	49億9,602万1千円
人件費率 B/A	13.8%
28年度の人件費率	14.3%

※人件費には、市長や市議会議員などの特別職に支給される給料や報酬のほか、一般職員に支給される給料や諸手当、共済組合負担金、災害補償費などを含まず。

職員数 A（29年4月1日現在）	510人	
給与費	給料	20億8,802万3千円
	職員手当	2億8,403万7千円
	期末・勤勉手当	8億3,275万7千円
	計 B	32億481万7千円
一人当たり給与費 B/A	628万4千円	
28年度一人当たり給与費	633万4千円	

※職員手当には、退職手当、児童手当を含みません。

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	329,800円	352,040円	42.8歳

※給与とは、給料に諸手当を加えたものです。

区分	八女市	福岡県	国	
一般行政職	大学卒	179,200円	185,800円	179,200円
	高校卒	151,500円	151,500円	147,100円

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	268,800円	303,400円	361,560円
	高校卒	244,225円	—	321,075円

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	主事	44人	10.3%
2級	主事	23人	5.4%
3級	主任主事	76人	17.7%
4級	係長級	180人	42.0%
5級	課長補佐級	65人	15.1%
6級	課長級	34人	7.9%
7級	部長級	6人	1.4%
8級	部長級	1人	0.2%
計		429人	100%

※八女市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

(1) 期末・勤勉手当（30年4月1日現在）						
区分	八女市		福岡県		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分	0.90月分	1.225月分	0.90月分	1.225月分	0.90月分
12月期	1.375月分	0.90月分	1.375月分	0.90月分	1.375月分	0.90月分
合計	2.6月分	1.8月分	2.6月分	1.8月分	2.6月分	1.8月分

※期末勤勉手当とは、民間の賞与に相当する給与のことです。
※市、国ともに職制上の段階、職務に応じた加算があります。

区分	八女市		国	
勤続年数	自己都合	定年退職	自己都合	定年退職
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分	39.7575月分	47.709月分
最高月数	47.709月分	47.709月分	47.709月分	47.709月分



(3) 時間外勤務手当 (29年度普通会計決算)

支給総額	1億1,410万413円	一人当たり年間平均支給額	214,878円
------	--------------	--------------	----------

(4) その他の手当 (30年4月1日現在)

手当名	支給内容	手当名	支給内容
扶養手当	●配偶者=6,500円 ●子=10,000円 ●父母など=6,500円 ※16歳から22歳の子については5,000円を加算	通勤手当	●通勤のために、交通機関や自動車などを利用している職員に、3,000円から55,000円までの範囲内で支給（通勤距離が片道2km以上に限る）
		管理職手当	●管理職職員に対して35,000円から70,000円を支給
住居手当	●借家に住んでいる職員に支給 ※上限27,000円を支給	特殊勤務手当	●職務の特殊性、危険性、不快性等に応じて4種類の手当を支給

⑧ 特別職の報酬などの状況 (30年4月1日現在)

区分	給料月額等	期末手当	退職手当 (算定方式)	
給料	市長	880,000円	6月期=1.575月分 12月期=1.725月分 計=3.30月分	880,000円 × 在職年数 × 510 / 100 (任期4年ごと)
	副市長	710,000円		710,000円 × 在職年数 × 300 / 100 (任期4年ごと)
	教育長	630,000円		630,000円 × 在職年数 × 252 / 100 (任期3年ごと)
報酬	議長	452,000円		
	副議長	404,000円		
	議員	385,000円		

⑨ 職員数の状況 (各年4月1日現在)

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由						(2) 部門別職員数の推移							
部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	部門	区分	平成28年	平成29年	平成30年	平成28年~30年		
		平成29年	平成30年										
普通会計部門	一般行政部門	議会	6	6	0	一般行政	職員数	466	461	460	—		
		総務	134	133	▲1		増減	—	▲5	▲1	▲6		
		税務	37	37	0		教育	職員数	51	49	47	—	
		民生	104	104	0			増減	—	▲2	▲2	▲4	
		衛生	41	39	▲2			水道	職員数	12	13	12	—
		農林水産	49	50	1				増減	—	1	▲1	0
		農工商	27	28	1		下水道	職員数	10	10	11	—	
		土木	63	63	0			増減	—	0	1	1	
		計	461	460	▲1		その他	職員数	36	36	37	—	
	教育部門	49	47	▲2	増減	—		0	1	1			
消防部門	0	0	0	計	職員数	575	569	567	—				
小計	510	507	▲3		増減	—	▲6	▲2	▲8				
公営企業等会計部門	水道	13	12	▲1									
	下水道	10	11	1									
	その他	36	37	1									
	小計	59	60	1									
合計		569	567	▲2									
		[649]	[649]	[0]									

※職員数は一般職に属する職員数で、地方公務員の身分を保有する休職者などを含み、市長などの特別職や教育長、再任用短時間勤務職員、非常勤嘱託職員、臨時職員は除きます。カッコ内の人数は条例定数の合計です。

※増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を示しています。

学 西中学校と忠見小学校が受賞
学校図書館コンクールで奨励賞

平成30年度福岡県学校図書館コンクール(福岡県学校図書館協議会・西日本新聞社主催)が行われ、西中学校と忠見小学校が奨励賞を受賞し、2月28日(木)に橋本教育長に報告しました。

授業や給食などに関連した本の整備や生徒会と協働でのポップ作りなどを通じた、学校生活と本(図書館)を身近に結びつける取り組み等が評価されたものです。両校とも「この受賞を出発点とし、よりよい学校図書館運営に努めたい」と決意を述べました。



地 障害者基本計画策定に係る答申提出
地域共生社会の実現を

2月13日(水)、第3期八女市障害者基本計画の策定に係る答申が行われました。答申にあたっては、「障がいの有無に関係なく、すべての方が安心して住み慣れた地域で生活できる地域共生社会の実現」を基本理念とし、1.障がい者の自立支援、2.相談等事業の推進、3.ふれあいのある街づくり事業の推進の三本柱を基本方針として障害者基本計画としています。

答申は、同計画策定委員会の西原洋文会長、樋口芳子副会長から中園副市長に手渡され、会長は「今後、策定委員会が八女市障害者福祉推進委員会として、毎年の計画の進行管理を行います」と説明しました。副市長はお礼を述べるとともに「この計画書に基づいて、八女市は、障がい者福祉施策の一層の推進につとめ、共生社会の実現を目指して参ります」と、答申書を受け取りました。



福 「もちの木福高ラジオ」3月22日(金)オンエア
島高生とFM八女が共同制作

「福島高校生が作り、放送するラジオ番組『もちの木 福高ラジオ』。番組の企画・制作・収録・編集をすべて福島高校の生徒が担当しています。2月25日(月)、FM八女スタッフの指導のもと、収録が行われました。

番組は福島高校生徒会とFM八女の共同で取り組んでいるもので、今回で5回目の放送。今回は特別に60分番組を90分にしての拡大版で、生徒たちが練りに練った企画や内容が盛りだくさん。初回から制作に関わっているリーダーの秋山真大さんは「今回は、市民の皆さん、福高生、OBの皆さんに向けた7つのコーナーで構成しています。たくさんの人に聞いてもらいたいです」と意気込みを話しました。

放送は3月22日(金)15時から16時30分(再放送は、当日23時から0時30分と24日(日)の13時から14時30分)です。



元 文化会館で歌声レクササイズ
気のパワーを分け合う

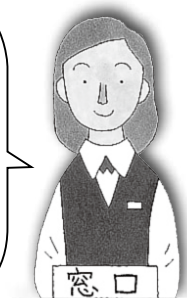
1月30日(水)、240人が参加して「歌ごえレクササイズ新春歌レクオンステージ」が八女文化会館でありました。今回は15回記念として、市内各地で活動しているシルバー世代の皆さんが、ステージで日ごろの練習の成果を披露しました。平均年齢80歳の忠見寿会の銭太鼓、マジックショー、日本舞踊、オカリナ演奏などを楽しんだあと、みんなで歌を歌い、レクササイズで体を動かしました。演じる皆さんも客席の皆さんも、元気のパワーを分け合い楽しいひとときを過ごしていました。



年度末・年度初めの 日曜日に、市民課市民係 の窓口業務を行います。

市民課市民係 (☎ 23・1115)

年度末や年度初めは、
転入・転出などの住民
異動が多くなります。
3月末と4月初めの日曜
日に、本庁のみ窓口業
務を行います。
ご利用ください。



- 開庁日 3月31日(日)、4月7日(日)
 - 開庁時間 8時30分～12時(両日とも)
 - 業務を行う窓口 本庁市民課市民係
 - 取り扱い業務
 - ▽ 転入、転出、転居などの住民異動受付(ただし、市民係以外の手続きはできませんので、平日に手続きをお願いします)
 - ▽ 住民票の写し、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書などの交付
 - ▽ 印鑑登録の受付
 - ▽ マイナンバーカードの交付
- ※ マイナンバーカードを
使って、コンビニで住民票の写し、印鑑登録証明書などの各種証明書が取得できます。(ただし、証明書によっては、取得できない場合があります)
- ※ 毎週水曜日は、本庁の市民課窓口等業務を19時まで延長して行っています。
- ※ 住民票の写しは、電話予約および八女市ホームページからふくおか電子申請サービスにより、時間外や休日取得することができます。
- ★ 詳しいことは、市民課市民係 (☎ 23・1115) にお尋ねください。

第36回 八女茶山唄 日本一大会 6月2日(日) 9時～ 黒木開発センター

出場者
募集!



- 八女茶発祥の地である黒木町を中心に江戸末期から茶揉み唄として歌い継がれている八女茶山唄。八女茶のふるさとにふさわしい茶山唄の普及とともに、文化の発展と茶の振興につなげます。
- 参加資格 年齢・性別は問いません(前回までのグランプリ受賞者は出場できません)
 - 伴奏 主催者で準備しますが、随伴でもかまいません
 - 部門 ① 少年少女の部(中学生以下)
 - ② 青年の部(50歳以下)
 - ③ 壮年の部(70歳未満)
 - ④ 高年の部(70歳以上)
 - ⑤ オープン参加の部 ※ 新設(小学生以下) 1コーラスのみ、審査の対象としない
- ※ 少年少女の部以外の部で予選・決勝・グランプリ戦を行います。
- 参加料 2500円(少年少女の部、オープン参加の部は1000円)
 - ※ 弁当代含む
 - ※ 参加料は申込時に振込用紙で金融機関に振り込み、納入してください。
 - 申込締切 4月19日(金) ※ 必着
- 出場申込書(領収書不要)をファクスまたは郵送で事務局へお送りください。

● 申込・問い合わせ 八女茶山唄日本一大会 実行委員会事務局(黒木支所産業経済課内)
☎ 42・1115
☎ 42・0172

食べ残しを
なくそう!



食品ロス削減
さんまるいちまる
「30・10運動」
を实践しましょう

これから先、花見や歓送迎会などの宴会シーズンを迎えます。宴席での食べ残しをなくすため、食品ロス削減「30・10運動」を有効に活用しましょう。

「30・10運動」とは

乾杯後の30分とお開き前の10分は、自分の席で料理を味わい、出された料理を食べ切ろうという運動です。主催者と参加者の「食べ残しをしない意思統一」が成功のカギです。主催者は、宴会が始まる前に運動の実践を呼びかけ、参加者は、主催者に協力し食べ残しをしないことを心がけましょう。この一人一人の行動の積み重ねが、ごみ処理経費の削減、地球環境の保全につながります。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

● 問い合わせ 環境課 (☎ 23・1462)

お知らせ



桜と提灯まつり

岡山公園を守る会では毎年、桜の開花時期にあわせて岡山公園に提灯を飾り付け、桜の花見をより華やかにします。提灯の中に三つのハートマークが隠れています。全部見つけたら幸せが訪れるかも。

●期間 3月22日(金)～4月7日(日)

●場所 岡山公園一帯

とびかた映画村上映会

市民との協働によるまちづくり提案事業

●上映映画 Ⅱ「嘘八百」

幻の利休の茶器をめぐって繰り広げられる騙し合いを軽妙に描いたコメディドラマ。主演中井貴一、佐々木蔵之介。監督武正晴。このほかショールトフィルムの上映も行います。

●日時 3月23日(土) 18時30分開場、19時開演

●会場 白木コミュニティセンター

●入場料 Ⅱ500円(小学生以上)

●問い合わせ Ⅱとびかた映画村実行委員会代表熊手さん (080・1734・3931)

八女軽トラ市

八女特産の野菜や加工食品、雑貨などを販売します。出店者随時募集中。

●日時 3月24日(日) 9時～12時 ※悪天候の場合中止

●場所 Ⅱ八女観光物産館とさめき駐車場

●問い合わせ Ⅱ同実行委員会事務局 (022・3131)

懐良親王顕彰会法要

南朝樹立に尽力した征西将軍・懐良親王を偲ぶ法要が開催されます。併せて講演会もあります。参加費無料。

●日時 3月27日(水) 10時30分

●場所 Ⅱ大円寺(星野村土八)

●講師 Ⅱ佐々木四十臣氏

●演題 Ⅱ「懐良親王と忽那島」

●問い合わせ Ⅱ文化振興課 (023・1982)

測上流大正琴八女支部おさらい会

●日時 3月27日(水) 9時30分開場、10時開演

●場所 Ⅱ多世代交流館「共生の森」

●問い合わせ Ⅱ平田さん (023・0206)

多世代交流事業・春休み企画「ピザ作り！」

生地作りから行います。大人も子どももおしゃべりしながら楽しんで、石窯で焼いた熱々のピザを味わいませんか。

●日時 3月30日(土) 10時～12時30分

●参加費 Ⅱ200円 ※要申込、先着20人

●場所・問い合わせ Ⅱ多世代交流館「共生の森」 (022・2257)



短期子ども体操教室

●日時 4月12日(金)・26日(金) 17時30分～18時30分

●場所 Ⅱ八女市総合体育館

●対象 Ⅱ小学1年生～6年生

●参加費 Ⅱ月額600円、会員無料

●問い合わせ Ⅱ総合体育館内サウスクラブ (024・1340)

たちばな熟年会員

●対象者 Ⅱ60歳以上の人

ほほえみ

地域活動支援センター

ふらっち広場からのお知らせ

★本町178(旧きんぶく亭)
★024・3022

【開館時間】 平日 10:00～12:30、13:30～17:00 / 土日祝 10:00～16:00
【休館日】 3/17(日)、18(月)、23(日)、24(月)

★レクリエーション「カラオケ会」

●日時 = 3月21日(祝) 11時～
●場所 = ふらっち広場
●参加費 = 無料

★お菓子作り「大学いもづくり」

●日時 = 3月23日(土) 13時30分～
●参加費 = 100円

★調理活動「カレーライスづくり」

●日時 = 3月30日(土) 11時30分～
●参加費 = 100円

※各イベントは要予約。簡単な工作・手芸もできます。お気軽にご来館ください。

配水管工技能講習会Ⅰ

上水道工事における耐震継手管の配管・接合に関する知識や技能の取得を目的に開催されます。

●会場 Ⅱ福岡市水道技術研修所(福岡市西区羽根戸)

●講習日数 Ⅱ3日間(5月から11月まで13回開催)

●資格 Ⅱ①配水管布設工事2年以上の実務経験者②耐震管継手の配管・接合の未経験者

●受講料 Ⅱ6万円

●開催日・申込期限 Ⅱ「配水管工技能講習会のご案内」にて確認ください。

●申込・問い合わせ Ⅱ(社)日本水道協会配水管工技能講習会事務局 (03・3264・2496) ※「配水管工技能講習会のご案内」および申込用紙は上下水道局上水道

1523)

●申込・問い合わせ Ⅱ八女市働く女性の家・立花公民館 (037・1522/037・1523)

●期間 Ⅱ5月～11月第4木曜日(月1回開催)、9時30分～15時

●会場 Ⅱ八女市働く女性の家・立花公民館

●内容 Ⅱ【午前】教養講座・映画鑑賞

【午後】選択コース(9コース)▽書道▽俳句▽短歌▽郷土史▽健康体操▽グラウンドゴルフ▽園芸▽刺し子▽料理(定員20人)

●年会費 Ⅱ2500円

※料理コースは別途材料費2千円(年間)が必要です

●申込締切 Ⅱ4月15日(月)

※立花公民館に設置の申込書に記入または電話、ファクスで受付。

臨時職員(保育所保育士)募集

応募に基づき登録し、必要に応じて任用します。

- 応募資格=保育士の資格を有し「保育士証」の交付を受けている人
- 提出書類=八女市臨時職員登録申込書、保育士証(写)
- 任用期間=4月1日～9月30日(更新あり)
- 勤務形態=日々雇用(1日勤務、午前のみ、午後のみ、時間単位の勤務あり)
- 賃金=7,400円(1日勤務)/3,600円(午前勤務)/4,500円(午後勤務)/950円(1時間)
- 通勤手当=2km以上有
- 勤務場所=八女市立(福島、長峰、北山)保育所
- 申込・問い合わせ=子育て支援課こども未来係(☎24・8814)

総合型地域スポーツクラブ 会員募集!

八女市にはサウスクラブ、上陽わくわくクラブ、立花SEクラブと地域に根差した総合型地域スポーツクラブがあります。子どもからお年寄りまでスポーツを通じて、仲間との交流を深め、健康な体と心のうらおいを提供します。同じスポーツ種目ばかりでなく(文化的な活動も含む)、いろいろな種目が選べます。気軽に、気楽に、まずは体験から!

●申込・問い合わせ

SOUTH クラブ (総合体育館内)

☎24・1340

上陽わくわくクラブ (古賀さん)

☎090・8763・2638

立花SEクラブ (白木郵便局熊手さん)

☎35・0042

★ SOUTH クラブ総会案内

- 日時=3月31日(日)10時～
- 会場=総合体育館 柔・剣道場
- 問い合わせ=総合体育館内 SOUTH クラブ(☎24・1340)

刑に当たる犯罪行為がないこと。▽警察署長・地区交通安全協会長連名表彰受賞歴

★全日本交通安全協会会長「緑十字銅章」表彰

- 資格要件▽10年以上継続
- 資格要件▽10年以上無事故・5年以上無違反、その他罰金以上の刑に当たる犯罪行為がないこと。▽県警察本部長・九州管区警察局長・九州交通安全協会会長連名表彰
- 資格要件▽15年以上継続
- 資格要件▽20年以上無事故・10年以上無違反、その他罰金以上の刑に当たる犯罪行為がないこと。▽全日本交通安全協会会長「緑十字銅章」表彰受賞歴
- 県表彰受付期間▽4月1日(月)～4月23日(火)
- 必要書類①運転免許証
- ②無事故無違反証明書
- 証明申請を委任する場合は、手数料630円と必ず印鑑をご持参ください。
- 受付・問い合わせ▽八女交通安全協会(八女市本町559番地2) ☎24・5208 ※土日祝日は休みです。表彰には一定の枠があります。

工務係(☎23・1107)窓口に準備しています。

試験

平成31年度国税専門官

- 受験資格▽平成元年4月2日～平成10年4月1日生まれの人、平成10年4月2日以降生まれで大卒および2020年3月までに大卒見込みの人等
- インターネット申込▽3月29日(金)9時～4月10日(水)(受信有効)
- 1次試験日▽6月9日(日)
- 問い合わせ▽八女税務署(☎22・8051)※国税

庁HPもご覧ください。

就業支援

県立久留米高等技術専門学校

- 試験料、受講料無料。教科書代等実費。ハローワークから受講あっせんを受けることができる人等対象。
- 募集科(定員)▽
- ①パソコン初級科1期(短時間・25人)
- 訓練期間▽5月9日(木)～8月7日(水)
- 試験日▽4月10日(水)
- ②パソコン初級・中級連続養成科1期(30人)
- 訓練期間▽5月10日(金)～

10月4日(金)

●試験日▽4月11日(木)

③医療事務科2期(25人)

●訓練期間▽5月9日(木)～8月2日(金)

●試験日▽4月12日(金)

①～③共通

●申込締切▽3月28日(木)

●選考方法▽学科、面接

●試験会場・問い合わせ▽久留米高等技術専門学校(☎0942・32・8795)



優良運転者の表彰

【地区表彰】

★八女交通安全協会会長表彰

●資格要件▽5年以上継続

●資格要件▽5年以上無事故・無違反▽交通安全協会の会員であること。

★八女警察署長・八女交通安全協会会長連名表彰

●資格要件▽10年以上継続

●資格要件▽10年以上無事故・無違反、その他罰金以上の刑に当たる犯罪行為がないこと。

●地区表彰の受付期間▽4月1日(月)～4月12日(金)

【県表彰】

★福岡県警察本部長・福岡県交通安全協会会長連名表彰

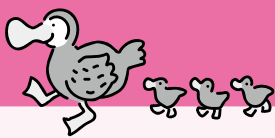
●資格要件▽10年以上継続

●資格要件▽10年以上無事故・無違反、その他罰金以上の刑に当たる犯罪行為がないこと。▽全日本交通安全協会会長「緑十字銅章」表彰受賞歴

★九州管区警察局長・九州交通安全協会会長連名表彰

●資格要件▽15年以上継続

●資格要件▽20年以上無事故・10年以上無違反、その他罰金以上の刑に当たる犯罪行為がないこと。▽全日本交通安全協会会長「緑十字銅章」表彰受賞歴



子育て支援掲示板 4月

※子育て…子ども自身が、自らの力で心身ともに成長すること。

子育て支援総合施設
やめっこ未来館 **みらい広場**
(八女市稲富 499) 圃(☎24・8814)

■4か月さん生まれ(11月生まれ)

「ベビータッチ+食育」
●4/4(木) 10:00～12:30 / 飲み物持参/参加費あり/要申込

■赤ちゃんRoom・相談Room

●4/4(木)、4/18(木) 13:30～15:00 / 参加費あり/要申込

■マタニティさん生まれ♪

「プレパパ・ママ講座」 ●4/13(土) 10:00～12:30 / 参加費あり/託児あり/要申込

■高田先生とおしゃべり会

●4/23(火) 10:00～12:00 / 飲み物持参/要申込

■ママ読のり

●4/24(水) 10:00～12:00 / 託児あり/要申込/移動図書館車が来ます

子育て支援施設 **ピコロ**
(黒木町桑原207※ふじの里内)
圃(☎42・3301)

■はっぴいバースデー

「山下照子さんのパネルシアター」
●4/16(火) 10:30～ / 4/13(土)までに要申込

■つくろうね「こいのぼりづくり」

●4/23(火) 10:30～ / 定員親子10組 / 4/20(土)までに要申込

子育て支援施設 **きらきら**
(立花町北山2747-5)圃(☎24・9090)

■わ・わ・WA!「ピクニックに行こう」

●4/5(金) 10:30～ / 要申込 / 参加費あり、詳細は問い合わせください。

■ほんの森ぶっくるん

「移動図書館のバスが来ます」

●4/9(火) 10:30～

■すてきな誕生会♥

●4/11(木) 10:30～ / ※誕生日者のみ要予約 / どなたも参加できます。

■子育てエール

「保健師さんに聞こうすくすく子育て」
●4/15(月) 10:30～ / 要申込、詳細は問い合わせください。

子育て支援施設 **トゥインクル**
(星野村 10775-14 ※そよかぜ内)
※開館日=祝祭日除く火・木・金
圃090・3320・2196 / やめっこ未来館 (☎24・8814)

■ちよこつとヨ〜ガ●4/5(金) 10:30～/要申込

■星野であそぼ♪「裏山さんぽ&よもぎ摘み」 ●4/12(金) 10:30～ / 弁当・水筒持参/要申込

■うちのおやつ時間「よもぎまんじゅう」

●4/19(金) 10:30～ / 参加費200円 / エプロン・三角巾持参/要申込

■月いちマクロビごはん

「玄米ご飯と具だくさん味噌汁」
●4/25(木) 10:30～ 参加費500円 / エプロン・三角巾持参/要申込

移動ひろば圃(こども未来係)☎24・8814

■10:00～13:00

▽上陽公民館 4/5(金)

▽かがやき 4/23(火)

▽長峰保育所 2階 4/24(水)

▽矢部基幹集落センター 4/24(水)

▽室岡公民館 4/25(木)

＋4月の在宅医当番表

※変更になっていることがありますので電話で確認してください。

4月7日(日)

古賀泌尿器(馬場)	24・3121
しばた医院(上陽町)	33・7373
みやぞの歯科医院(黒木町)	42・3232
富田眼科医院(本村)	23・3455
宮城耳鼻咽喉科(筑後市)	0942・52・8733

4月14日(日)

吉山クリニック(稲富)	30・2200
今村循環器内科(黒木町)	33・2115
柳迫歯科医院(平田)	24・5554

4月21日(日)

三浦医院(皮膚科)(東京町)	23・3928
岡村医院(立花町)	23・2770
いなとみ歯科クリニック(広川町)	32・5123

4月28日(日)

城戸医院(鶴池)	23・5303
中島医院(黒木町)	42・0235
大淵歯科医院(本村)	23・4823

4月29日(祝)

東洋医学ひぐちクリニック(大島)	23・2765
中村内科医院(立花町)	37・1601
永田歯科医院(宅間田)	22・3511

4月30日(休)

今里整形外科(高塚)	23・7715
林 医院(立花町)	23・5557

▼救急指定病院

公立八女総合病院(高塚)	23・4131
柳病院(吉田)	23・2176
川崎病院(納楚)	23・3005
馬場病院(広川町)	32・3511
姫野病院(広川町)	32・3611
筑後市立病院(筑後市)	0942・53・7511

▼夜間小児救急医療受付(19:00～21:30)

[月・水・金] 公立八女総合病院(23・4131)
[火・木] 筑後市立病院(0942・53・7511)

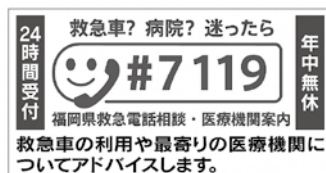
▼日祝日小児救急医療受付(9:00～14:30)

【4月】7日(日)・21日(日)・29日(祝)・30日(祝)
公立八女総合病院(23・4131)

【4月】14日(日)・28日(日)・30日(祝)
筑後市立病院(0942・53・7511)

▼県小児救急医療電話相談(19:00～7:00)

県指定健康相談事業者 # 8000



音楽と桜マルシェ

日時:3月24日(日)11時～16時

場所:はたと石橋の館

(問い合わせ☎54・2150)

おひさまのおやつ、八女茶カフェ、多肉植物アレンジ鉢販売など。

心を癒すCOZY-ASHスプリングコンサート

(茶のくに親善大使)

3月24日(日) 14時～15時

※チケット2,000円(限定50席)
ピタパンサンド&ドリンク付

献血にご協力ください

八女市献血推進協議会

(☎23・0294)

場所	日時
【上妻地区】 八女市総合体育館	3月28日(休) 10:00～12:30、 13:30～15:30
【三河地区】 八女市立三河小学校	3月29日(金) 10:00～12:00
【長峰地区】 マンガ倉庫八女店	3月29日(金) 14:00～16:00

【休日当番薬局】

日曜日・祝日に開いている薬局を、八女筑後薬剤師会のホームページ(<http://ycpa.info>)で確認することができます。

おりなす八女 イベント情報

お問合せ
おりなす八女(☎22・5332)

八女ブラスステーション 2019

YAME BRASS STATION 2019

入場無料

3/24(日) 13:30 開演 ハーモニーホール

[出演吹奏楽部]
 広川中学校 / 牟田山中学校(久留米市) /
 筑後北中学校(筑後市) /
 福島高等学校 / 八女高等学校 / 輝翔館中等教育学校 /
 八女学院中学・高等学校 / 西日本短期大学附属高等学校

主催: 八女ブラスステーション 実行委員会
 後援: 八女市・八女市教育委員会
 お問合せ: 八女学院中学・高等学校(高山) ☎23・5111



今回の舞台はファンタジー。ヤル気の
 全くない勇者は勇者になれるのか?
 仲間とともに冒険の旅へ、さあ出発!
 (やだな)

RPG
 ~勇者の作り方~

劇団リトルウィング vol.24 ミュージカル
 脚本・演出 / 中島真紀 ハーモニーホール

4/27(土) 18:00 開演 (全席自由) 大人1,000円
 4歳~高校生 500円

28(日) 14:00 開演 (チケット発売中) (当日各300円増)

主催・お問合せ: 劇団リトルウィング
 ☎090・5288・2074(中島) ☎090・2510・6464(鬼丸)

母の故郷、八女で唄う。

綾戸智恵
DO JAZZ LIVE

~ Gokko ~
 @おりなす八女



チケット好評発売中

4/21(日) 16:00 開演
 (全席指定) 一般 5,000円
 ハーモニーホール 友の会 4,500円

今、注目の新進気鋭ギタリスト

三良裕亮 & 上野芽実
ジョイントコンサート

〈プログラム〉(上野&三良デュオ)
 F. タレガ〜 J. サグレラス /
 アルハンブラの思い出

藤井真吾 / ラプソディ ジャパン ほか




福岡市在住。2014年ストラスブール(フランス)スペシャリゼーション課程を最優秀にて修了。九州ギター音楽協会公認講師。

熊本県出身。フォレストヒルアカデミー、みよしギター教室(熊本市)各講師。九州ギター音楽協会公認講師。

共催: フォレストヒル音楽工房

4/29(月・祝) 16:00 開演
 (全席自由) 一般 2,000円
 ハーモニーホール 友の会 1,500円
 (チケット発売中) (当日各500円増)

おりなすアコースティックライブ vol.5

永井龍雲 ライブ 2019 「夢見旅」



「道標ない旅」は代表作となる。五木ひろし「暖簾」は「第22回日本作詞大賞」の優秀作品賞を受賞。

6/15(土) 17:00 開演
 (全席自由) 一般 4,000円
 はちひめホール 友の会 3,500円
 (当日各500円増)

チケット発売 3月16日(土)~

2019夏 八女平和の祈りコンサート

アン・サリー ライブ 2019



八女市星野村に灯される「平和の火(広島原爆の火)」にちなみ、「いのち、平和、愛」をテーマに開催します。

8/3(土) 15:00 開演
 (全席指定) 一般 3,000円
 ハーモニーホール 友の会 2,500円
 高校生以下 1,000円

チケット発売 友の会 4月6日(土)~ / 一般 4月20日(土)~

主催: おりなす八女文化事業振興会・八女市

3月・4月 イベント情報 おりなす八女HP <http://www.orinasu-yamecity.jp/>

開催	催し	ホール	開演	入場料	問合せ先	電話番号
3/27(水)	プロムナードコンサート 女声ヴォーカルデュオ カリノヴォーチェ 柿添安芸子(Pf/V)&原 祐子(Vo)	桜カフェ	19:00	無料	おりなす八女	22・5332
4/13(土)	第22回 みんなで歌おうボンモマン (幸せなひととき)	八女文化会館	14:00	無料	サウスハーモニカ 「竹取物語」(末石)	23・3366

八 雛の里・八女ぼんぼりまつり 女の町並みが華やかに

2月10日(日)から3月10日(日)にかけて、八女福島地区一帯で、雛の里・八女ぼんぼりまつりが行われました。2月17日(日)と3月3日(日)には一般公募で選ばれたカップルが十二単衣と束帯姿で結婚式を挙げ、町中をパレードしました。また、「あなたもお雛様に変身(2月23日(土)・24日(日))」や「おひなさま供養祭(2月23日)」「和服でめぐる八女のまち(2月23日・24日)」などのまつりを彩るイベントも盛況でした。

まつり期間中は、おひなさまの装いを意識してか、和服で散策する人が数多くあり、八女福島の白壁の町並みを彩りました。



写真は期間中の各イベントの様子。①十二単衣と束帯姿の結婚式、②おひなさま供養祭、③あなたもお雛様に変身、④和服でめぐる八女のまち

道 おかげさまで14周年 の駅たちばなでわくわく誕生祭

2月9日(出)から11日(祝)の3日間、道の駅たちばなで「わくわく誕生祭」が行われ、多くの人出で賑わいました。地元特産品をはじめ、各部会の対面販売、つきたて餅やだご汁の無料振る舞い、ステージイベント等が行われました。また、敷地内の活性化センターでは、旧柳河藩地域に伝わる「さげもん」等の展示即売なども行われました。



夢 BMX で全国大会優勝含む好成績を報告 は大きく、オリンピック!

第2回全日本BMX フリースタイル・パーク選手権大会7歳～9歳の部(9月16日、岡山県)で2位、BMX フリースタイル・パーク JapanCup 7歳～9歳の部(12月1日・2日、京都府)で優勝した松本翔海くんが、2月14日(木)、橋本教育長を表敬訪問しました。

BMXは2008年の北京オリンピックから正式種目となった比較的新しい競技で、2020の東京オリンピックでは、フリースタイルとレーシングの2種目が正式採用されています。松本くんは「パークの部がオリンピックの種目となる時には代表選手に選ばれるよう、一生懸命練習を重ねます」と力強く将来の夢を語りました。
※BMX = Bicycle Motocross (バイシクルモトクロス) の略

